（様式第2号）

記載日：2026年9月2日

事業者名	株式会社ミネラリス

	分類	チェック項目	取組レベル 基本	取組レベル チャレンジ	非該当	具体的な取組（事業者が記載する欄） ※国、市町村等の認証・認定等取得している場合は、その旨も記載してください。	主なSDGs（17のゴール及びターゲット）関連項目 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1	人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、人種、出身、障害などによる差別がないことを確認している	●			今後の雇用において、性別、年齢、人種、出身、障害等による差別を行わず、多様な人材が互いを尊重し、協力して働ける職場環境を整備する。					5.1					10.3							
2		【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制が整備されている	●			セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを禁止する規則を設けている。また、相談窓口を設置するとともに、無記名で意見・相談を投書できる体制を整備している。								8.8									
3		【ワークライフバランス・労働時間】 ・働き方の見直し等により、長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るワークライフバランスを推進している	●			週休2日制を実施し、有給休暇の取得を推進している。また、適切な労働時間管理を行うとともに、家庭と仕事を両立できる柔軟な勤務体制を整えている。								8.5									
4		【外国人労働者】 ・外国人労働者の差別、人権侵害がないことを確認している	●		×	現在、外国人労働者を雇用していないため非該当。 【予定】今後雇用する場合は、国籍等による差別のない適切な労働環境を整備する。								8.8		10.3							
5		【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境が整備されている	●			作業前の安全確認を行うとともに、作業場の整理整頓・清掃を徹底し、事故防止と衛生的な作業環境を維持している。								8.8									
6		【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良い環境で維持できるように施策を実施している	●			相談窓口を設置している。【予定】メンタルヘルスに対応した休職規程等を整備する。			3.4														
7		【ダイバーシティ経営の促進】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）を活かし、十分に活躍できる環境が整備されている	●			本人の意思や適性を尊重し、多様な人材が能力を発揮できるよう「社内申告制度」を設け、希望する部署や業務について申告できる体制を整えている。					5.5					10.2							
8		【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等、組織の活性化に取り組んでいる		●		従業員の定期健康診断を実施し、健康状態の把握と健康管理を行っている。また、適切な労働時間管理や有給休暇の取得を推進し、心身ともに健康に働ける職場環境を整えている。			3.4					8.8									
9		【人材育成】 ・労働者に適切な能力開発、教育訓練の機会を提供している		●		展示会やセミナー、公的支援機関の専門家支援等を積極的に活用し、商品開発、販売、海外展開等、事業に必要な専門知識や技能の習得に取り組んでいる。				4.4													
10		【女性の活躍推進】 ・女性の活躍を推進するための取組を行っている		●		【予定】採用や業務分担、役職への登用において性別による区別をせず、本人の能力や適性、希望を尊重し、女性が継続して活躍できる職場環境を整備する。					5.5			8.5									
11		【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿った対応を行っている		●		【予定】雇用形態にかかわらず、同一労働同一賃金の原則に沿った公正な待遇を行うため、必要な体制を整備する。								8.5									
12		【デジタルトランスフォーメーション（DX）の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により、業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる		●		ECサイトやオンライン受注システムを活用し、受注・顧客管理等の業務をデジタル化している。また、AIを商品ページや販促内容の分析、海外展開における情報整理等に活用し、業務の効率化を図っている。								8.2									
13		【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、また削減に努めている	●			詰替え商品の販売により容器廃棄物の削減を図るとともに、商品発送時には紙製の緩衝材を使用し、プラスチックごみの削減に取り組んでいる。また、一部製品にはバイオマスプラスチック容器を採用している。												12.5					
14		【エネルギー】 ・自らの事業所のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	●			電気使用量を定期的に確認し、不要な照明や使用していない機器の電源を切るなど、日常業務における電力使用量の削減を行っている。							7.3										

	分類	チェック項目	取組レベル 基本	取組レベル チャレンジ	非該当	具体的な取組（事業者が記載する欄） ※国、市町村等の認証・認定等取得している場合は、その旨も記載してください。	主なSDGs（17のゴール及びターゲット）関連項目 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
15	環境	【温室効果ガス】 ・自らの事業所の温室効果ガスの排出量を把握し、削減を進めている	●			【予定】電気使用量等を基に事業活動に伴うCO2排出量の把握を進め、省エネルギーの取組とあわせて温室効果ガス排出量の削減に取り組む。													13.2				
16		【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の削減及び適切な使用に努めている	●			【予定】製造工程で使用する原材料について、法令で規制される有害化学物質の有無を確認し、該当する場合は法令に基づく適正な管理と使用量の削減に取り組む。			3.9									12.4					
17		【生物多様性】 ・自らの事業所の活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	●			放置竹林の整備・伐採等の森林保全活動に参加するとともに、伐採した竹を製品原料として有効活用し、里山の環境保全と地域資源の循環利用に取り組んでいる。												12.2					
18		【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルの推進を行っている	●			詰替え商品の販売により容器の使用量と廃棄物を削減するとともに、梱包資材の再利用や紙製緩衝材の使用など、資源の有効活用とプラスチック使用量の削減に取り組んでいる。												12.5					
19		【水の管理】 ・自らの事業所の水の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に努めている		●																			
20		【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001または同等の環境マネジメント規格を取得している		●																			
21		【環境情報開示】 ・自らの事業所の環境の取組に関する情報を収集し、開示している		●																			
22		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用を進めている		●																			
23		【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達を行っている		●		放置竹林の整備で伐採した竹を廃棄せず、化粧品や生活用品等の原料として有効活用することで、地域資源の持続的利用と循環利用を推進している。												12.2			15.2		
24		【食品ロスの削減】 ・食品ロスの削減に取り組んでいる		●																			
25		【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用を減らすなど、海洋ごみ削減、海洋汚染の防止に貢献している		●		製品容器の一部を石油由来プラスチックから植物由来原料を使用したバイオマスプラスチックへ切り替えている。また、商品発送時には紙製緩衝材を使用し、石油由来プラスチックの使用量削減に取り組んでいる。												12.5		14.1			
26		【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車、水素自動車などの環境にやさしい自動車の利用を促進している		●																			
27	公正な事	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職や贈収賄を禁止する方針を掲げ、従業員に教育している	●			法令遵守と公正・誠実な事業活動を基本方針とし、取引先や関係者との間における汚職・贈収賄を禁止している。【予定】今後、従業員にも方針を明確に周知する。																16.5	
28		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、従業員に教育している	●			法令を遵守し、他社の知的財産権や営業上の権利を尊重した公正な事業活動を行っている。【予定】今後従業員を雇用する際には、不正競争行為に関与しない方針を周知・教育する。																16.3	
29		【知的財産保護】 ・知的財産を保護するよう、適切な取組を進めている	●			自社ブランドのロゴ等を商標登録し、商標権を適切に管理している。また、製品の配合や製造方法等の独自ノウハウについては、営業秘密として適切な情報管理を行っている。								8.3									

	分類	チェック項目	取組レベル 基本	取組レベル チャレンジ	非該当	具体的な取組（事業者が記載する欄） ※国、市町村等の認証・認定等取得している場合は、その旨も記載してください。	主なSDGs（17のゴール及びターゲット）関連項目 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
30	業慣行	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理し、その取扱いについて従業員に教育している。	●			個人情報保護方針（プライバシーポリシー）を定めて公表し、ECサイト等で取得する顧客の氏名、住所、連絡先等の個人情報を適切に管理している。																16.6	
31		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等に対し、人権侵害（低賃金労働、児童労働、劣悪な労働環境等）の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）のための取組を要請している		●		【予定】原材料の仕入先や製造委託先等の事業パートナーと、人権・労働環境・環境保全・法令遵守について情報共有を行い、適切な事業活動が行われていることを確認する。								8.8				12.6			15.5	16.5	
32	製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・自らの事業所の製品やサービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	●			製造委託先と連携し、製品ごとに検査・試験（微生物検査など）を実施。品質・安全性を確認したうえで販売している。また、使用方法や使用上の注意事項を商品ラベルや商品説明等に明記し、安全に使用できるよう情報提供を行っている。			3.9										12.4					
33		【品質保証】 ・顧客に品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを確立している	●			顧客からの商品に関する問い合わせや不具合・クレームに迅速に対応し、必要に応じて製造委託先と原因確認を行い、交換等の対応や再発防止、品質改善につなげている。								8.2									
34		【ユニバーサルデザイン】 ・障害者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている	●			年齢や性別を問わず誰もが使いやすい製品づくりを行うとともに、使用方法や注意事項を商品ラベルやECサイト等に分かりやすく表示し、安心して商品を選び、使用できるよう情報提供を行っている。									9.4	10.2			12.212.5					
35		【環境配慮製品】 ・環境に配慮した製品の開発、設計を進めている		●		放置竹林の竹を原料として有効活用した製品開発を行っている。また、一部製品では植物由来原料を使用したバイオマスプラスチック容器や詰替え商品を採用し、製品づくりから容器包装まで環境負荷の低減に取り組んでいる。																	
36		【社会課題解決製品・サービス】 ・社会課題を解決する製品やサービスの開発、展開を進めている		●		地域課題である放置竹林の竹を活用し、化粧品や生活用品等へのアップサイクルを通じて、放置竹林問題の解決と地域資源の循環利用に取り組んでいる。								8.3				12.2			15.2		
37	社会・地域貢献	【地域への影響に対する配慮】 ・自らの事業が地域に及ぼす影響に配慮し、適切に取り組んでいる	●			地域の放置竹林問題を事業課題の一つと捉え、竹林整備活動への参加や、伐採した竹を活用した製品づくりを行っている。また、地域での環境教育活動を通じて、地域の声や課題に触れながら事業活動に反映している。				4.7										15.2		
38		【社会貢献活動・地域への参画】 ・寄付、ボランティア、地域団体への支援、地域コミュニティの活性化等の活動に積極的に取り組んでいる		●		宇部市環境教育プログラムにインストラクターとして参加し、市内小学校で環境教育を担当している。また、NPO法人やまぐち里山ネットワークの理事として森林ボランティア活動に参加し、地域の森林・里山環境の保全に取り組んでいる。				4.7										15.2		17.17
39		【地域資源の積極的利用】 ・地域資源の積極的利用（地産地消、地産外商等）を行っている		●		山口県内の放置竹林から伐採した竹を地域資源として活用し、化粧品や生活用品等の製品開発・販売を行うことで、竹の新たな価値創出と地域資源の循環利用に取り組んでいる。								8.3				12.2					
40	組織体	【法令遵守】 ・法令遵守の考え方が事業者内に十分浸透し、法令遵守が確実に行われるよう、体制や仕組みが整備されている	●			事業に関係する法令・規則を確認し、製造・品質管理・表示・販売等の各業務において関係法令を遵守した事業運営を行っている。また、法令改正等の情報を確認し、必要に応じて業務内容や表示等の見直しを行っている。																16.3	
41		【内部管理体制】 ・経営理念や経営目標の事業所内への共有が行われている	●			経営理念・事業方針を明確にし、それに基づいて事業目標や取組内容を定めている。代表者が進捗を確認し、責任を持って事業運営を行っている。																16.6	
42		【組織体制】 ・自らの事業所の活動が社会、環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署など体制が整備されている	●			代表者を責任者とし、品質・環境・法令遵守に関する事項を一元的に管理し、必要に応じて製造会社等の関係先と連携して対応する体制を整えている。																16.6	
43		【リスクマネジメント】 ・法令遵守、環境安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスが整備されている		●		品質・安全性・法令遵守・労働環境等、事業運営上想定されるリスクを把握し、問題が発生した場合は代表者が責任者となり、必要に応じて製造会社等の関係先と連携して原因確認・対応・再発防止を行う体制を整えている。																16.6	

	分類	チェック項目	取組レベル 基本	取組レベル チャレンジ	非該当	具体的な取組（事業者が記載する欄） ※国、市町村等の認証・認定等取得している場合は、その旨も記載してください。	主なSDGs（17のゴール及びターゲット）関連項目 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
44	制	【事業所の社会的責任】 ・自らの事業所の活動が社会、環境に及ぼす影響に対し、責任を持って対応するCSR（Corporate Social Responsibility）の取組を進めている		●																			
45		【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダーと対話し、自らの活動のステークホルダーへの影響を把握し、適切に対応している		●																			
46		【事業継続】 ・事故や災害などの発生に伴う事業中断を想定した戦略を立案している		●																			
47		【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている		●																			
48	持続可能な社会・共創による取組	【SDGsの普及啓発・理解促進】 ・SDGsについて事業者内部に浸透させるとともに、社会課題解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている	●			宇部市環境教育プログラムやNPO法人やまぐち里山ネットワークの活動に参加し、小学校での環境教育や森林・竹林に関する体験活動等を通じて、子どもや地域の方々のSDGsや環境保全への理解促進に取り組んでいる。				4.7								12.8					
49		【連携・共創】 市の「共創の指針」を理解し、自社の経営に関係ある・なしに関わらず、何らかのまちづくり活動に対し、多様な主体と連携し参加している	●			宇部市の環境教育活動やNPO法人やまぐち里山ネットワークの活動に参画し、学校や地域団体等とともに環境教育や森林保全に取り組んでいる。また、高校生が企画した竹ベンチづくりでは、竹の伐採・活用を支援した。																	17.17
50		【ESD（持続可能な開発のための教育）の推進】 ・事業者内部または外部で持続可能な社会の担い手を育成する取組を行っている		●		宇部市環境教育プログラムへの参加。NPO法人やまぐち里山ネットワークの活動を通じ、子どもや学生に森林・竹林問題や自然環境について伝えるとともに、竹を使った体験活動や森林保全活動等を行い、環境問題を自分ごととして考え、行動できる次世代の担い手育成に取り組んでいる。				4.7								12.8					
51		【若者等の地元定着】 ・若者等の地元就職やUIJターン就職を促進する取組を行っている		●																			

上記以外で設定した取組項目（独自に設定したSDGsに資する取組は、取組レベル「チャレンジ」としてカウントします）

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

分類	チェック項目	取組レベル		非該当	具体的な取組（事業者が記載する欄） ※国、市町村等の認証・認定等取得している場合は、その旨も記載してください。	主なSDGs（17のゴール及びターゲット）関連項目															
		基本	チャレンジ			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

・「取組レベル」の「基本」項目のすべてに「具体的な取組」が記載され、かつ、3つ以上の「チャレンジ」項目に「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。
　また、「独自に設定したSDGsに資する取組」を記載した際は、「チャレンジ」項目としてカウントします。

・「具体的な取組」には、チェック項目に関する具体的な取組を記載してください。（今後、取り組む予定のものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）
　また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。
　（※SDGsフレンズ登録、宇部市地域活動応援事業者認定制度、宇部市女性活躍推進企業認定制度、地域であんしん見守り愛ネット事業協力事業者、宇部市ごみ減量等流量事業所認定制度、宇部市健康づくりパートナー など）

・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に「×」を選択し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。